

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7月ドイツ I f o 企業景況感

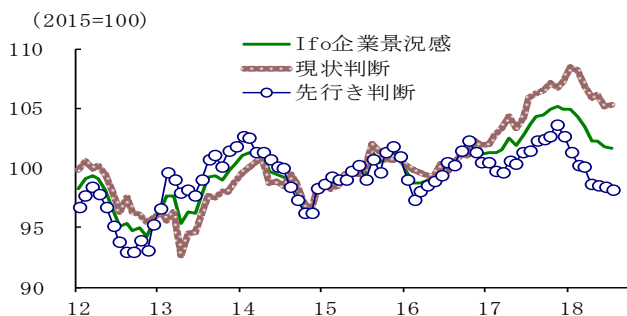
発表日：2018年7月26日(木)

～米欧貿易戦争回避が恵みの雨に～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

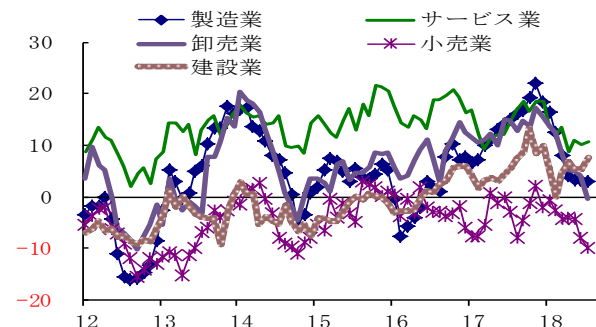
- 25日に発表された7月のドイツの I f o 企業景況感（2015年=100の指数）は前月から0.1ポイント低下した。横這いとなった5月を除き、昨年12月以降、ドイツ企業の業況悪化が続いている。内訳は、前月に大きく落ち込んだ現状判断が小幅改善した一方、ここ数ヶ月は悪化度合いがやや軽微となってきたものの、先行き判断が8ヶ月連続で低下した。
- 業種別の先行き判断（ゼロが分岐点）は、小売業（▲8.1→▲10.0）のマイナス幅が拡大、卸売業（+4.1→▲0.3）が約4年振りのマイナス転落、製造業（+3.2→+3.0）のプラス幅が僅かに縮小、サービス業（+10.2→+10.8）、建設業（+5.3→+7.6）のプラス幅が拡大した。欧米間の貿易戦争激化による自動車への業況悪化が懸念されてきたが、調査対象に占める自動車メーカーの数がそれほど多い訳ではない。統計の性質上、業況の下押し程度も限られる。これは前日に発表されたPMIも同様。
- 25日の米欧首脳会談で、新たな貿易交渉を開始すること、EUが米国産の液化天然ガスと大豆輸入を拡大すること、自動車を除く工業品の関税を引き下げること、交渉中は新たに関税を導入しないこと、で合意した。貿易戦争の脅威による企業景況感への悪影響がそれほど深刻化していない段階での貿易戦争回避の一報は、二番底の瀬戸際にあった欧州景気にとって恵みの雨となりそうだ。ただ、協議の行方は不透明、自動車分野は対象外、米中間での合意破棄の前例もあり、まだ安心はできない。

■ドイツ：I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：業種別の先行きの業況判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

	2017				2018				2018						
	3Q	4Q	1Q	2Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
企業景況感(総合)	104.2	105.0	104.2	102.1	104.5	104.9	105.2	105.0	104.9	104.3	103.5	102.3	102.3	101.8	101.7
現状指数	106.3	107.1	107.9	105.8	106.5	107.2	106.8	107.3	108.5	108.3	106.9	106.0	106.2	105.2	105.3
先行き指数	102.1	103.0	100.6	98.6	102.5	102.7	103.7	102.7	101.4	100.3	100.1	98.7	98.6	98.5	98.2
業況判断	25.2	26.8	24.9	20.0	25.1	26.7	27.5	26.3	27.4	24.8	22.4	19.9	20.7	19.4	19.7
製造業	30.7	33.0	30.6	24.2	30.7	32.4	34.5	32.1	33.9	30.3	27.5	24.4	24.2	23.9	22.4
サービス業	31.1	32.3	30.6	26.5	32.0	32.0	32.1	32.9	31.6	30.5	29.8	26.2	27.2	26.0	26.7
卸売業	23.7	24.2	23.8	16.7	23.7	21.9	25.4	25.2	25.6	24.8	20.9	14.9	18.0	17.2	15.1
小売業	5.0	8.1	6.1	4.5	5.0	8.8	7.5	7.9	9.2	7.2	2.0	3.4	7.5	2.5	1.7
建設業	16.6	18.1	17.1	19.8	17.8	19.5	16.6	18.2	17.3	15.5	18.4	19.6	20.4	19.4	27.4

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。